

# 東北ダンプ

【発行】全日本建設交通一般労働組合(略称・建交労)東北ダンプ支部  
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2

建交労福島ダンプ内

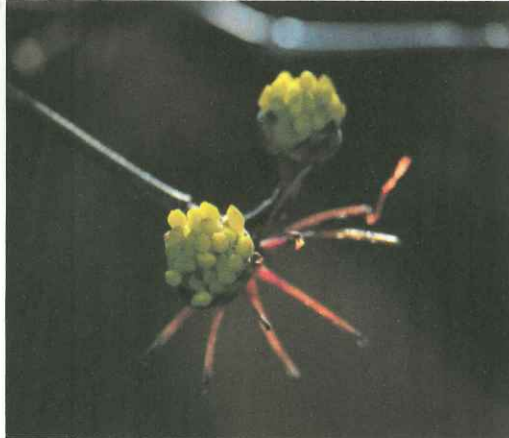
2024年4月1日発行 NO.22

TEL024-933-4511 fax024-921-1868

Email : fukusimadanpu@mtj.biglobe.ne.jp



オオイヌノフグリ



サンシュユ

## ゼネコン本社に行きました ～鹿島・清水・大林・奥村

### 55,000 円(税別)の単価で次々と合意

3月7日～8日は、建交労の仲間が東京に集まって統一行動を展開する日です。私は建交労建設産別対策委員会の責任者として、ゼネコン本社と各80分間の交渉を行ないました。今回は40回目(20年継続)でした。A班は鹿島、清水、大林、奥村、B班は竹中、大成、前田、熊谷と訪問しました。

私はA班を担当しましたが、各本社で強調したことは次の二つです。①建交労は公共工事の中に記載されている「優先使用団体」であることから、全ての工事で建交労のダンプを優先的に使うこと。②この4月から、働き方改革の目玉として、本格的な残業規制と週休2日制が始まる。稼働時間が短くなる分の単価引き上げが必要である事から、建交労ダンプには55,000円(税別)の単価を支払うこと。

各社の反応では否定的な意見はなく、概ね建交労の説明は受け入れられたと思います。但し、鹿島建設は、リニア新幹線工事では建交労を受け入れているものの、北海道や東北では現場からの締め出しを行なっています。鹿島本社に対しては「直ちにその様なことを止めること」「副社長でもある風間土木本部長と会わせてくれ」と強調しました。

大林、清水、奥村などでは全員にお茶も準備され、時々冗談も飛び出すなど、和気あいあいとした雰囲気で行われました。ただ、建交労側としては、優先使用や単価の話になれば、冗談話で口元は笑っていても目元はキラリと光らせたのは当然の事です。建交労の幹部が、口元も目元も笑っていたのでは「ただの役立たず」になってしまいます。その辺はゼネコンの幹部も同じで、口元は笑っていても向き合って並んでいる建交労幹部の品定めをやっている訳です。ゼネコンから「この人は要注意だ」と評価されなくては、交渉役としては失格です。

建交労全国ダンプ部会の構成は、事務所を預かって連日交渉などに明け暮れる「専従集団」と、現場で多くの仲間とふれあい、全国ダンプの宣伝と組織拡大で奮闘する組合員のコラボで成り立っています。専従者は日々の学習に励む必要があります。交渉に出て来る本社の幹部は、いずれも有名大学を卒業して、立派な資格を持った人たちですから。

3月1日から、12年連続で大幅にダンプの単価が引き上げられました。10tダンプ1日当たりの単価は8万円となりました。東北ダンプの要求は当面、55,000円(税別)で就労する事です。3月以降、大成建設、西松建設、福島県の地元会社で55,000円を確認しました。

組合専従者と現場の仲間がもっともっと団結して、組合を大きくすれば、単価と労働条件を更に改善する事は十分可能です。組合から送られる新聞などを読みましょう。(森谷)

## ダンプ・建設労働者の低単価改善等の署名

請願署名は、日本国憲法第16条(請願権)に基き、国に対して行う行動です。賛同者の住所・氏名を記入する。誰にでもできる活動です。全国ダンプ部会は、毎年5月に国土交通省省と交渉を行っていて、この場でみなさんから預かった署名を直接手渡ししています。こういう活動ができるのは、我々建交労だけです。毎年、毎年の積み重ねが使用促進闘争やあらゆる場面で生きています。

福島分会では、昨年年末に封書で組合員全員に協力を呼び掛けています。友誼団体の協力もあり現在1,600筆集約しました。目標は2,000筆を掲げて取り組んでいます。×切は4月末までなので、まだ組合事務所に送っていない組合員は提出をお願いします。各分会も同様にとりこんでいますのでぎりぎりまで、集めてください。

立ち上がる  
能登の勇氣に  
感動す



**晴釣雨読(せいちょううどく)**  
溪流釣り解禁が間近に迫り、待ちかねた釣り人は準備に余念がないと思うが、大切なルールに有料河川(県条例)に入渓時には釣券を所持する義務があることを忘れてはならない。▼釣法は、エサ釣り、ルアー釣り、テンカラ釣り、フライフィッシングなどだが、解禁当初は魚の活性が低いことからエサ釣りがベストでしょう▼解禁当初は入渓する河川も増水で限定され、小河川も狭い川に限定されるので、竿の長さもおのずから決まっていると思いついて、3.4mの短い竿で良いと思っている人が多くいる。▼川幅2.5mぐらいいで、水深が40.90cm程の標準的な流れを想定し、長めの竿を求めてほしい。源流部や中流部でも使い勝手の良い竿は、6.3m或いは7mがベストだと思おう▼長竿の代表的な長所を3つ挙げると、源流域でも中流部でも、短い竿では届かない場所がある①堰堤下、滝つぼ、大淵など仕掛けが届くためには長い竿が頼りになり、水深があり流れがよほど深場には大物が潜んでいる確率が高いこと②魚の潜んでいるポイントから出来だけ離れた位置から警戒心をあおらずエサを自然に流すことが出来る。特に、盛期(水量が下がった夏季)の釣果が思った以上に上向くことから重要である。③長竿だからと言って、扱い辛いことはない、最近の竿は、マルチ方式で長短を瞬時にできる竿が多いことから短くしても使える機能を持つ竿が沢山出てきているので、釣具店で相談し購入することが大切だ▼長所だけを解説したが、短所はないのかと言うとそれは嘘になる。ポイント間を移動するとき、長竿だと仕掛けを巻き取り、竿を短くしたんで次のポイントに移動するので多少面倒だが、このひと手間が、仕掛けのからみ防止や竿の欠損事故防止に繋がるので、手間を惜しまずにやるのが大事である▼特に多い事故は穂先を折る釣り人が大半をしめている。破損し予備の竿を装着してなければ、その楽しい一日が台無しになり下山を余儀なくされ、悔しさが残る。溪流釣りを止めるケースになり兼ねないので必ず守ってほしい▼もう一つの短所は竿が長いので、どうしても周りの木の枝に引っ掛かりやすいため、釣行を繰り返して慣れる必要がある▼竿は使う人に合った調子(硬調、軟調)を選ぶことが大切で、曲がり硬さが合ったものを選ぶことが釣果に左右する。おのおの硬い竿(超高調)は初心者向けになるので参考にしたい。折れる確率も群を抜いているので扱いには細心の注意を払うしかない▼解禁で心躍る一日になるよう願うと同時に、一方、招かざる山の神(熊)との遭遇、崖崩れ、急な増水などへの安全対策は万全を期してほしいものだ。



# インボイスは酷な税制

昨年10月からインボイス制度が開始され、今回の確定申告では多数の方の消費税申告がありました。仕事の減少に加えインボイス制度導入で少なくない金額の消費税を納めていると思います。

今年の特徴としては、やはりインボイス制度です。免税事業者(1000万円以下の消費税支払わない事業者)であった方は、10月1日以降の売り上げ分の消費税を支払わなければいけなくなり、10月~12月分の消費税申告が必要となりました。

例)2割特例の場合

	売上	消費税額
10月	110万円	10万円
11月	99万円	9万円
12月	110万円	10万円
計	319万円	29万円

消費税 29万円の2割、58,000円の消費税を国に納める。



組合では、インボイス制度の廃止を訴えてきました。消費税は、付加価値税であり儲けが出ている業者が支払う者である。今まで売上1000万円以下は小規模事業者として免税となっていました。インボイスは小規模事業者からも地金をむしり取ってやろうという制度でしかありません。

公共事業の減少に伴い単価を引き下げる事業者が居る一方、インボイス制度の導入で国民には増税を強いている状況です。

インボイス廃止と単価改善は今後の大きな課題となります。

# 組合未加入の仲間を紹介してください

ダンプの「正当な単価」を示すとともに、要求していくことでしか単価改善の道はないと思います。そのためには「労働組合に結集する仲間を増やす」ことが最重要です。組合が大きくなれば、それは東北ダンプの勢いとなり、建設会社からすれば「脅威」の組織となります。更なる経済闘争を進めていく中で大きな影響を及ぼすことは間違いありません。

ぜひ周りにいる仲間の紹介をお願いします。その際は分会専従者にご連絡ください。

インボイス  
ウラ金よりも  
税務署は

メンバーに参加して  
働く者の団結をしよう



# 不当労働行為救済申立 …宮城県労働委員会

宮城県大和町鶴巣に東北サンド(株)という太平洋セメントが親会社の山砂販売の会社があります。この会社は東日本大震災発生後に、復興特需を当て込んで進出した会社です。砂などの製品の運搬手段は、ダンプカーの仕事です。

東北サンドは会社を立ち上げるとダンプをかき集めることから始め、震災復興で多忙な時は自家用ダンプの車持ち労働者を上げ膳据え膳で囲い込んできました。しかし震災後10年以上がたち、復興工事が一段落すると親会社の指示だから運搬業務のすべてを青ナンバーダンプに切り替えるので運搬業務から外れてくれと告げ、組合員の遠藤さんら車持ち労働者を解雇してきました。

東北ダンプ支部は、「東北サンド(株)は組合員の遠藤さんを解雇した実質的使用者である。したがって遠藤さんの解雇を撤回し、建交労の団体交渉の申し入れに対して、誠実に団体交渉に応ずる義務がある(憲法28条、労働組合法第7条2号)」として、要求書、団体交渉の申し入れを行ってきました。

しかし、東北サンドは拒否し続けているため不当労働行為にあたるとして、このほど宮城県労働委員会に救済の申し立てを行い、第1回期日が5月14日に決まりました。

建交労共済会 2023年度

# 拡大キャンペーン

いざ!に備えよう

実施期間

2023年9月1日

2024年6月30日



◆ 一例 ◆

新規に組織共済に加入した組織に  
→ 月額掛金3ヵ月分の還元

組織共済に継続して加入する組織に  
→ 純増人数×1,000円

個人セット共済に新規加入  
→ 個人に5,000円分の商品券  
プラス組織に5,000円



詳しくは【建交労共済会】へ

☎ 03-3360-8021 ✉ info@kenkourou.or.jp

# 金権腐敗 自民に政権担当資格なし